

# 平成一六年度 決算の概要

今回の定例会に、平成一六年度一般会計決算及び五つの特別会計決算が提出されました。

本会議では、一般会計決算については二〇名で構成する決算

## 一般会計決算の審査から

国・都への要望  
予算に反映しているか

問 国や都への予算要望がこの決算書にはどのように反映されているか。

答 国には全国市長会、全国基地協議会等を通じ、都には市長会を通じ要望している。国庫支出金では、児童手当・児童扶養手当負担金、心身障害者ホームヘルプサービス事業補助金などが増額となり、新たに拜島駅自由通路整備事業の補助金が交付された。また、防衛庁関係では、要望した事業がすべて採択され、基地交付金も増額となった。都支出金では、市町村調整交付金、心身障害者ホームヘルプサービス補助金が増額となった。

## 収納率向上努力 どのようにしたのか

問 収納率向上のため

に全庁支援による収納対策を実施したようだが、具体的な内容を伺いたい。

答 全庁職員あがての収納支援は他には例がなく、実施しているのは福生市だけで、収納課職員に一人ずつ応援をつけて臨戸訪問しており、通常の班体制を倍増して収納効率を上げるもので、実績としては訪問日の徴収額は約四一六万円で、訪問日から翌月末までに約六三九四万円の収納効果が出ている。

## 横田基地 今年度の評価額は

問 周辺五市一町の基

地交付金の額と、算定基準となった横田基地全体の今年度の資産価格を伺いたい。

答 立川市が二億三八〇万三〇〇〇円、昭島市が一九三二万七〇〇〇円、武蔵村山市が四億五三九五九一〇〇〇円、羽村市が二億三五七六万一〇〇〇円、瑞穂町が六億八八七九万一〇〇〇円、福生市が三億六八五七万七〇〇〇円、合計二九億六九八四万四〇〇〇円である。一六年度の国有財産台帳価格は六三三七億一三三〇万六〇〇〇円で、横田基地の資産価格は五四七三億九八一五万六〇〇〇円で前年度より一四・九%の増である。



▲平成16年度一般会計決算は起立多数で認定

## 行政改革 その取り組みは

問 行革に取り組み中  
で職員から嘱託職員等に  
切り替わっていると人件

費は下がってきて評価するものだが、一六年度は仕事のやり方の見直し等仕事の進め方で、行革に取り組んだことがあったらお聞きしたい。

答 事務事業の見直し、あるいは正規職員が担わなければならない業務というものについても絶えず見直しを行っている。行政が担うべき仕事というものも社会環境変化で変わってきている。それらを考慮しながら、将来的には市民との協働にもつながるよう今後とも考えていきたい。

## シルバー人材センター 補助金と加入率は

問 シルバー人材セン

ターへの運営費補助金四四九〇万円の計算方法はどうか。また、年齢とか入会の基準、入会金、入会した場合は、入会基準年齢に該当する方の何%が入会しているのか。

答 会員数は九〇〇人、受託件数は三三三三件で、就業率は七二・二%。入会率は六〇歳以上で、加入率は六・五%。補助金については、人材センターの管理運営費、事業費の自身に対するものであるが、本年から事業補助金交付要綱を作成し、要綱にのっとり補助すること

## 指定袋収納管理 システムの流れは

問 指定袋収納管理シ

ステム保守委託は、商工会に移管することにより実績としては職員を一名削減できるとのことだが、現在の清掃課が実施しているシステムの流れを伺いたい。

答 収納管理システム保守委託料は前年度に比較して減額となっているが、内容はシステム保守委託料と機種保守費用の減である。各商店の売上枚数の管理や委託料の管理を一七年度から商工会に委託し、システム用機器を商工会に移管したため委託契約はなくなった。

## 南公園管理棟 建て替え予定は

問 一昨年来から市内

各公園が放火され、本年一月には南公園管理棟が放火されたが、管理棟はまだバリエードが張られ、たまたまで景観上よくない撤去、建て替えはどうかしているのか。

答 警察署の現場検証のため、人が入らないようバリエードをしてあるが、建て替えは規模等検討の上、平成一八年度に予算計上したい。焼却した管理棟は年度内に撤去

ができればと考えているが、状況により建て替えと一緒にいるが、まだ決定していない。

## 体育館の 指導援助事業とは

問 福生地域体育館の

指導援助事業の中に健康管理課、介護福祉課、公民館などに対する指導援助事業があるが、体育館としてはどのようなかわり方をしているのか。また、指導しているのは体育館の指導員の方か。

## 不登校児童 出現率の上昇理由は

問 小学校で一六年度  
に出現率がかかり上がっ  
ているが、その理由は、  
中学校も平均を上回って

び非行型の割合が高い。

等それぞれの所管で、体育館は文書等の指導依頼により職員、嘱託のサポート指導員が指導援助に携わっている。今後も介護等市民の健康づくりに関し介護福祉課、健康管理課などと具体的、密接に連携して事業展開をしていきたい。

答 一六年度の増えた理由は病気が、不登校と見るとの違いを明確化させたために増えた。対策はアドバイザースタッフ、適応指導補助員を初め各学校に指導主事等が出向いての取り組みを強化している。不登校の最長期間は一度も登校できなかった生徒も数名いる。不登校の内容と人数、また最長の欠席者で何日か。

平成16年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	231億9,175万2,691円	227億2,200万3,114円	4億6,974万9,577円
特別会計			
国民健康保険特別会計	48億1,531万3,676円	48億7,582万806円	-6,050万7,130円
老人保健医療特別会計	33億3,933万7,354円	33億2,917万2,247円	1,016万75,107円
介護保険特別会計	24億7,750万2,572円	24億4,673万9,028円	3,076万3,544円
下水道事業会計	20億326万9,229円	19億5,118万2,675円	5,208万6,554円
受託水道事業会計	4億9,326万4,273円	4億9,326万4,273円	0円
合計	363億2,043万9,795円	358億1,818万2,143円	5億225万7,652円

平成16年度 一般会計決算の款別内訳( )内の数字は合計に占める割合

